

第53回 静岡県小学生バレーボール大会（兼）静岡県スポーツ少年団バレーボール交流大会

競技上の確認

競技委員長

1. 競技規則について

- (1) 2024年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
- (2) 全ての部、一日目・二日目はリーグ戦、三日目はトーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
- (3) リーグ戦の順位は、①勝ち数・負け数 ②セット率 ③ポイント率 の順で決定する。

2. 使用球について

- (1) (財)日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号カラーボール「ミカサボール(V400W-L)/モルテンボール(V4M5000-L)」を本部より各コートへ配布する。
- (2) 男子の部及び混合の部は「ミカサ」、女子の部は「モルテン」を使用する。

3. チームの構成について

- (1) チームは監督、コーチ、マネージャー各1名、選手12名以内とする。
- (2) 選手は、参加申込書に記載された選手とし、病気や怪我など特別な事情がない限り入替はできない。体育館のフロアで練習できるのは当日エントリーされたベンチスタッフと選手に限る。
- (3) 選手の背番号及びベンチスタッフの変更がある場合、所定の用紙にて各会場での代表者会議開始前までに各会場総括責任者まで申し出ること。初日の変更は3日目まで継続となり、提出されたチーム構成表は全試合に適用し、変更は認めない。(変更は参加申込書に赤ペンで修正でも可)
- (4) 監督は成人であること。また、ベンチスタッフの1名以上は、(公財)日本バレーボール協会/日本小学生バレーボール連盟共催の全国小学生バレーボール指導者講習会一次・二次講習会受講者か、日本スポーツ協会認定のスタートコーチ(バレーボール)以上(コーチ1、コーチ2、コーチ3、コーチ4)のいずれかの資格を持っている者が必ず入っていないといけない。また、試合時にはその資格を証明する証明書を胸に下げていなければならない。ベンチスタッフ章は左胸部につけること。
- (5) ベンチスタッフはJVA-MRSに登録され、かつ宣誓書にも署名捺印したものに限定する。
- (6) チームは、令和6年度審判伝達講習受講済みの審判担当者を帯同させること。

4. 競技服装について

- (1) 選手は、必ず統一されたユニフォーム(ジャージ・パンツおよびソックス)を着用すること。ユニフォーム(シャツ及びパンツ)から、アンダーウェアがはみ出しているものは禁止する。ただし、プレーの動作によって見えてしまうのは、故意ではないので制限されない。
- (2) 混合の部において、男女の区別は、ユニフォームで識別することを原則とし、どうしても違うユニフォームが用意できない場合は、男女の識別ができるバンドを腕か足首につけるか、ソックスの色で区別すること。ソックスの長さやハチマキでの区別は不可とする。
- (3) ベンチスタッフは統一された服装でベンチ入りすること。ベンチスタッフの服装において、アンダーウェアがシャツからはみ出してはならない。
※東海大会以上はレフリースラックスでのベンチ入りは認められないので注意すること。
- (4) 小学生がベンチスタッフとしてベンチ入りする場合、Tシャツ・短パンでも可とする。

5. 試合進行について

- (1) 会場、試合順、使用コートはプログラムの掲載の通りとし、追い込み方式にて進行する。
- (2) 各会場の第1試合プロトコール開始時刻は競技担当委員が指示する。
- (3) 第2試合以降は、前の試合が終了して概ね10分後にプロトコールを開始する。その時、コート担当競技委員がネット、ラインテープ等のコート確認を行うので、完了するまでコートには入らないこと。
※同項は3日目に適用し、1日目、2日目についてはその限りではない。
- (4) 監督は、ボールデット間に立ち上がってコート内の選手に必要な指示を与えることができるが、喜びの表現や叱咤激励のパフォーマンスとして立ち上がる行為は慎むこと。
- (5) 試合が終了し、担当審判の責を果たしたチームは随時帰宅を許可する。(1日目、2日目は全チーム最後まで残る)

6. その他

- (1) 競技中の負傷については、応急処置並びに救急車の手配と病院への連絡までの手配は本部の方で行うが、それ以降の責任は負わない。
- (2) ベンチスタッフ、選手及び保護者の会場内でのマスクの着用は任意とし、個人の判断に委ねる。
- (3) 試合前の円陣や大きな声での掛け声、競技中のハイタッチは規制しない。
- (4) 1チームの入場許可人員は、駐車場や応援席のことを考慮して12名までとし、大会に伴う車輛は4台までとする。なお、3日目・エコパアリーナ会場においては、入場許可人員及び車輛の制限はしない。
- (5) 声出し応援は許可するが、メガホンや鳴り物を使った応援は引き続き禁止とする。(マスクの着用は任意)
- (6) 応援幕及びのぼり旗は、3日目のエコパアリーナ会場のみ使用を許可する。その際、各試合の該当チームのみが1枚掲出し、試合が終了したら直ちに撤去する。必ず紐やマジックテープ類で緊結し、粘着テープ類は絶対に使用しない。のぼり旗も同様に、各試合の該当チームが掲げることができる。その時、観客席の最上部に掲げ通行の妨げにならないように注意する。また、のぼり旗に個人名が記載されているものは認めない。
- (7) うちわの使用はセット間及びタイムアウト中のクールダウンに使用する場合のみベンチへの持ち込みを許可する。
- (8) 壁打ちは体育施設を叩く行為に該当するので禁止する。いかなる場合でも体育施設を大切に扱うこと。
- (9) ベンチにおいて携帯電話、タブレット等の電子機器類の使用は禁止する。